

## ★（様式A）通常事業評価シート【R4年度実施事業（一部）／市民環境部春木市民センターによる自己評価】

（単位：千円）

No.	事業名	総合計画での位置付け （個別目標）	事業の目的 （誰をどのようにするか）	事業の手段 （今年度の主な活動結果）	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 （決算見込額）	人件費 （参考値）	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	学級講座等運営事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	市民相互の結びつきと自主的な学習活動を支援するため、学級講座等を運営する。	定期講座として4講座、短期講座として4講座を開催した。	3：おおむね近づいた	継続	1,324	10,352	11,676	定期講座、短期講座とも内容の見直しを行いながら継続して実施する必要がある。	定期講座、短期講座とも講座数を減少させることなく、継続して実施する。	
2	春木市民センター管理事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	春木市民センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	おおむね適切に施設管理をすることができた。	5：達成した	継続	55,251	2,865	58,116	特になし	現状のまま継続して実施する。	
3	春木市民センター管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	庶務全般について、ほぼ効率的に行うことができた。	4：大いに近づいた	継続	-	10,028	10,028	特になし	現状のまま継続して実施する。	
4	サービスセンター事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民の利便性の向上を図るため、市民の需要度の高い窓口業務を市民センターで実施する。	市民の需要度が高い窓口業務は、おおむね市民センターで実施している。	5：達成した	継続	-	15,332	15,332	特になし	現状のまま継続して実施する。	
5	公共公益施設整備基金積立事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	市民センター施設の整備基金に充てるため、公共公益施設整備基金を適正に管理する。	今年度は未実施である。	0：進捗なし	休止	-	-	-	令和3年度末で自動販売機の設置契約が解除となったため、新規に参入する事業者を募集する必要がある。	できる限り早期に新しい事業者を決定できれば再開可能となる。	